

科目名	コマース研究ゼミナール	科目コード	1211	単位数	2
担当者名	澤内 大輔	開講セメスター	第6セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	演習	実務経験	無		

● 授業のねらい

本講義では、北海道産農産物・食品の輸出をテーマに、ゼミでの議論やそのための準備を通じ、自ら課題を発見し解決する能力を身に付けることを目標とします。

3年次後期に開講するコマース研究ゼミナールIIIでは、農産物・食品の輸出の制度、規制、実態などの定性的な情報を集め、取りまとめる方法を学びます。班ごとにテーマを決め、書籍やインターネット上の情報だけでなく、実際に輸出に取り組む企業などを対象にしたヒアリングも実施してみましょう。

● 到達目標

学生が、文献情報をもとに、農産物・食品輸出の制度や規制を取りまとめることができる。

学生が、農産物・食品輸出の制度や規制の実態についての不明点を見つけることができる。

学生が、ヒアリング調査の手順を理解し、実施することができる。

● 授業内容

- 1週目 ガイダンス：担当の割り振り、ゼミの進め方
- 2週目 グループワーク：農産物輸出の状況を知るための情報源探し
- 3週目 グループワーク：テーマ決定のための情報収集
- 4週目 グループワーク：テーマの選定
- 5週目 各班のテーマ報告
- 6週目 グループワーク：課題解明の方法
- 7週目 グループワーク：データ収集
- 8週目 グループワーク：報告資料のとりまとめ
- 9週目 グループワーク：報告資料のとりまとめ
- 10週目 中間報告（1）
- 11週目 中間報告（2）
- 12週目 グループワーク：報告資料のとりまとめ
- 13週目 グループワーク：報告練習
- 14週目 各班の最終報告（1）
- 15週目 各班の最終報告（2）
- 16週目 補足とまとめ

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：班員と協力し報告用のレジメを作成すること。（所要時間：1.5時間）

復習：ゼミでの議論を振り返り、改善点を取りまとめること。（所要時間：1時間）

● 成績評価の方法・基準

ゼミへの積極的な参加態度（50%）、ゼミでの報告内容（50%）をもとに評価します。

● 履修上の留意点

成績評価は、11週以上ゼミナールに出席した学生を対象とする。

Word、Excelを用いた演習を行うので、基本的な利用方法を理解しておくこと。

● 課題に対するフィードバックの方法

ゼミ時に、個別および全体に対して適宜フィードバックを行う。レポートや報告資料については個別にフィードバックする。

● テキスト

講義内で適宜指示します。

● 参考書

講義内で適宜指示します。

● 更新日付

2022/03/02 10:25